

なら



# 県とセブン-イレブン開発第2弾 「ならならのお弁当」発売

県がコンビニエンスストア最大手の「セブン-イレブン・ジャパン」(東京)と連携して開発した弁当の第2弾「ならならのお弁当」が18日、発売された。今回は奈良女子大(奈良市)の学生チームも開発に協力。「働き盛りに食べてほしい弁当」をコンセプトに、野迫川村産の沢ワサビなど県産農産物もふんだんに使用。星形に切り抜いた薄焼き卵を盛りつけるなど、女子学生らしい工夫も凝らした。県内のセブン-イレブン全55店舗とイトーヨーカドー奈良店(奈良市)で販売される。

除く近畿2府3県に拡大。のきんとん風なども加えて最終的に70日間で4万個余のきんとんを634店舗に抑える一方、野菜は1第2弾となる今回は、奈良の食材研究などに取組んでいる奈良女子大と開発で協力。5人の学生チームを中心に今年9月以降、開発を進めてきた。完成した「ならならのお弁当」は、サケの混ぜご飯、彩りも華やかになるように、

### 奈良女子大学生も協力

などに星形に切り抜いた薄焼き卵を乗せ、おかずに食べたくなるお弁当に仕上げました。1個580円(税込み)で、来年1月中旬まで販売予定。売れ行きが好調な場合は、販売エリアを関西地区に拡大することも検討しているという。



「ならならのお弁当」をPRする奈良女子大の学生開発チーム

県は今年4月、セブン-イレブン・ジャパンと包括連携協定を締結し、弁当の第1弾として「奈良茶飯」や煮物の「奈良のっぺ」などを盛りこんだ「奈良のうまいもの弁当」を発売した。県内のセブン-イレブンなどで発売したところ、売れ行きも上々で、約1カ月後には販売エリアを兵庫を